

## 学会企画シンポジウム 2

### 心理学理論と教育実践

——計算論的・個性記述的・社会文化的アプローチの観点から——

企画・司会：野崎優樹（甲南大学）

企画：栗田季佳（三重大学）

話題提供：赤松大輔（京都教育大学）

教育心理学と計算論的アプローチ

話題提供：平野真理（お茶の水女子大学）

レジリエンスの個別性の記述と測定にむけて

話題提供：楠見友輔（信州大学）

子どもの学習とは何か

——社会文化的アプローチから——

指定討論：齊藤 智（京都大学）

#### 企画趣旨：

心理学が社会に貢献する方法として、直接的な応用研究に加え、理論を検証し発展させることで間接的に応用に結びつける在り方がある。しかし、教育心理学の理論を教育実践に活かす際には、様々な障壁も存在する。このような理論と実践の関係性は、長らく議論されてきたトピックであるが、近年、教育心理学における理論構築の在り方や、理論と実践との繋がりについて、新たな動向が見られる。本シンポジウムでは、このような教育心理学における理論構築と教育実践の結びつきについて、計算論的・個性記述的・社会文化的アプローチといった観点から、各話題提供者の専門テーマを具体例として最近の動向を紹介すると共に、今後の教育心理学研究の在り方について議論を深めたい。